

# ジュニア救命士講習及び 救命入門コース（45分）

この度、名取市消防本部応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正が行われ、小学校高学年（5年生、6年生対象）としたジュニア救命士講習及び普通救命講習会の入門コースとしての短時間講習、救命入門コース（45分）が新たに新設されました。目的、概略、内容については下記のとおりとなっております。

## 1. ジュニア救命士講習

### （1）目的

中学校・高等学校の学習指導要領の中に心肺蘇生教育が明記されていますが、実際には心肺蘇生教育の普及は進んでいないのが現状です。JRC 蘇生ガイドライン 2015 でも義務教育課程での心肺蘇生法教育の重要性がうたわれており、学校教育での充実した心肺蘇生教育が行われることにより、児童を介して家庭での心肺蘇生法普及が期待でき、小学校高学年からの心肺蘇生教育を行うことにより将来的な社会全体への心肺蘇生法の普及が期待されます。

### （2）概略

教育時間については50分以上とし、担当教員や保護者との調整で自由に決めることができます。名取市消防署で提供する心肺蘇生トレーニングキット（胸骨圧迫訓練用心臓型樹脂、トレーニングシート、疑似AEDパッド）及び入門応急手当テキストを使用し実技を中心とした講習とし、講習修了後はトレーニングキットを自宅に持ち帰ってもらい家族への心肺蘇生法普及の一助としてもらう。また、講習修了時にはジュニア救命士講習参加証を配布し意識高揚を図ります。

### (3) 内容

到達目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1 倒れている人を見つけたら 119 番通報し、周囲の大人に助けを求めることができる。</li><li>2 近くに AED があれば持って来ることができる。</li></ol>
標準的な実施要領	<ol style="list-style-type: none"><li>1 講習について、講義、実技を行い救命の重要性について理解深める。</li><li>2 受講者数は教員、保護者と協議し生徒全員が実技を實踐できる人数を考慮する。</li></ol>

#### 1. 救命入門コース (45 分)

##### (1) 目的

JRC 蘇生ガイドライン 2015 では講習会のハード面の工夫による講習を實踐することにより、短時間の講習内容であっても同等の結果が得られるとの研究結果があります。また、厚生労働省からの通知についてもより多くの人々に心肺蘇生法、AED の普及をさせる観点から講師数、生徒数、訓練資器材等の工夫をして短時間であっても効果的に知識・技能の習得をできる入門コースの積極的活用が勧められています。それらを鑑みて新たに救命入門コース (45 分) を設定することとしました。

##### (2) 概略

従来の基本的講習である普通救命講習 (3 時間) の入門コースとしての位置づけであり、入門コース受講後概ね 12 ヶ月以内に普通救命講習会へのステップアップを兼ねた実技救命講習 (135 分) を受講することにより、普通救命講習 (3 時間) を受講したものとして、修了証を交付致します。

### (3) 内容

到達目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1 救急車が到着するまでの時間、胸骨圧迫を続けることが出来る。</li><li>2 自動体外式除細動器（A E D）を使用できる。</li></ol>
標準的な実施要領	<ol style="list-style-type: none"><li>1 講習については、実技を主体とする。</li><li>2 訓練用資器材一式に対して受講者は2名以内とすることが望ましい。</li><li>3 指導者1名に対して受講者は10名以内とすることが望ましい。</li></ol>



問い合わせ

名取市消防署 救急救助係

電話番号 022-382-3019（内線430）

